



第50回記念桜バザー お客さんも飛び入りで参加!

感謝

水上の友

発行所 社会福祉法人
大阪水上隣保館
 〒618-0001
 大阪府三島郡島本町
 山崎5丁目3-18
 発行人 黒川 芳 朝
 編集 広報委員会
 法人事務局 075-961-0711
 F A X 075-961-1144
<http://www.osakasuijyorinpokan.com/>
 印刷所 (有)木村桂文社

人が生まれるには理由がある

卒園生 中村 春雄

私が隣保館に来たのはまだ一歳にもならない頃だと聞いています。名前も分からなかったので、中村遙・八重子先生の名字をもらい、季節が春だったので中村春雄となり、生年月日は隣保館に来た日となったそうです。

小学校一年生の時から勉強はあまりせず、喧嘩ばかりしていたことを思い出します。先生に反抗し、叱られることが多かったけれども、先生は私のことを優しく見守って下さいました。

隣保館を出て四十八年になりますが、今でも忘れられないことがあります。

土曜日になると親が面会に来るので、館内放送で子どもの呼び出しがあるのですが、自分も呼ばれることを期待して土曜日は学校から走って帰っていました。当然呼ばれることもなく、そのことで暴れ、叱られることが多々ありましたが、今思えば半端ではない暴れたかたをしていたなと思います。

ある時、ママ(八重子)先生に「春

二〇一三年標語
**自分を愛するようになり
 あなたの隣人を愛しなさい**
 —新約聖書・マタイによる福音書 一三章三九節—

雄、お前は親を憎んでいるのか?」と質問されたことに対し、憎んでいないと言えは嘘になると思い返事ができなかったことがあります。そんな私に「人を恨むものではない、人が生まれた理由には人を好きになるために生まれてくるといふこともある」と言われました。その時は何となく聞き流していましたが、社会に出て、人と接する機会が多くなった時、その言葉の理解が私なりにできるようになりました。

中三で隣保館を卒園して、私は職業訓練校のタイル科で一年間学び、今もタイル業をしております。二十歳くらいの頃には道を外しかけ、警察のお世話になったこともありました。迷惑をかけた園にお詫びに伺った際、ママ先生が「春雄お前は悪いこともするけれど、ママはお前がかわいい」と言われ、何だか気恥ずかしく思ったことがあります。

二十六歳の頃に親方になり、人を使って仕事をできるようになりましたが、卒園生の受け入れも頼まれるようになりました。若い頃の私のように悪いことばかりしてきた若者の気持ちも理解し、早く自立してもらえように関わってきました。

また、仕事をする上では、館長(遙)先生がおっしゃった「低くても志を持っていればどんな困難でも克服できる」

という言葉をいつも心に持ち、これからも励んでいこうと思っております。まだ見たことのない親に対しては、貧しくても一生懸命生きていけば許すことができますが、人を泣かして生きているのなら、世間が許しても私は許さないと思っています。

最後に、隣保館で育ってくださったの先生に教わったことをありがたく思っております。ありがとうございました。
 (一九六六年度卒園)

暑中御見舞い申し上げます

わたし(神)の目にはあなたは高価で尊い。
 わたしはあなたを愛している。

—旧約聖書・イサヤ書 四三章四節—

わたしは、あなたがたをみなしこにはしておかない。

—新約聖書・ヨハネによる福音書 一四章一八節—

子どもは親や家を選んで生まれることはできません。どんな親をもったと、かどんな家に育ったかは、子どもには何の責任もありません。親や家によって子どもが不利になるようなことはあってはなりません。

神様(イエス)はどんな子ども(人間)でも、かけがえない素晴らしい存在であり、無条件に愛していると言っています。

暑さ厳しい折柄、皆様のご健勝を心よりお祈り致しております。

二〇一三年 盛夏

社会福祉法人 大阪水上隣保館



カット絵・中三 優花

卒園卒業を祝う会答辞から

出会ってくれてありがとう

ひびき 高三 女子

私は小六〜高三までの七年間をこのひびきで過ごしました。

初めてひびきに来たときは、本当に嫌でした。でも、七年間を過ごす中で、フロアメンバーの皆と出会えて良かった。何度かケンカした子もいるけれど、皆ここで出会って一緒に暮らせたこと、嬉しく思う。出会ってくれてありがとう。血は繋がっていないけれど、私にとって、皆は家族です。

弥栄の郷のボランティアは、中三の六月から続けてきました。行く度に温かく迎えて下さって、職員さんも忙しい中、話しかけて下さり嬉しかったです。ありがとうございます。

最後に、二年間担当してくれた岩崎さん、沢山怒らせただけど、私の進路について考えてくれたこと、知っていただき、ありがとうございます。就職が決まったとき、一番喜んでくれ、私にとって姉の

ような存在でした。スケジュール帳を真っ黒にするほどに進路を考えてくれた岩崎さんが好きでした。二年間ありがとう。そして七年間ありがとう。

大学に進学します

遙学園 高三 女子

「自立する力を身につける」ということが高校生になる時に一番の課題となりました。その課題に対して考え、大学に進学して資格をとり、それを活かせる仕事に就こうと考えました。

そして先生方に支えてもらい、何とか勉強を頑張り大学に合格しました。

特に担当の先生は自分の考えをあまり言えない私のことを心配し、自立のために必要なことを教えてくれました。

コンビニでのアルバイトを始めたのも「経験することで成長してほしい」ということでした。仕事を上手にこなすことの大変さや、仕事には責任があるということを学びました。少しずつですが、自立するための力をつけることができているのではないかと思います。

四月から大学の法学部に進みます。法律の専門的な知識を学ぶことで、私も園の先生方にもなったように、人の役に立ちたいと思っています。

そして園の先生方の期待を裏切らないように、安心して社会に出ていける大人になりたいです。

私はまだ園に残ることになったのでこれからも宜しくお願いします。

先生

遙学園 高三 男子

俺は小さいころからずっと遙で育ってたくさん迷惑かけてきたけど、いつも俺のことを思ってやってくれた先生に感謝しています。

問題をおこした時、俺の意見を尊重してくれてそのうえで俺の考えが間違っていたら正しい道を示してくれたり、何度か停学になった時、常に味方であってくれたり、言葉では言い表せない程感謝しています。

マラソン部で「心の勉強」といつも言われ、「何言ってるねん」と思っていました。高校生になって我慢できるようなりやっとなりの意味が分かりました。

いろんな先生にいっぱいお世話になりました。ありがとうございます。

(二〇一三年三月)



ひびき卒園・卒業を祝う会



一面の記事にはいつも感動しています。すてきな結婚式、又赤ちゃんの誕生、幸せ一杯で読む方も幸せな気持ちになりました。大阪市 渡口差知子

一度しか無い人生、命の尊さを感じます。貴館の働きが時代のニーズに合わせるために、日々進化し深められていることを知り、感動しております。京都市 落合 峯子

念願の貴館の礼拝に出席できました。たくさんの子どもたちと一緒に、オルガンの美しい響きにあわせて讚美し、早川先生の力強いメッセージを拝聴している。今ここに遙先生とママ先生の祈りが実現しているように感じました。大山崎町 西川 淑子

遙先生の師新島襄先生八重先生の大河ドラマ「八重の桜」を見ることを楽しみに、天国の遙先生八重子先生ご夫妻を偲んでおります。ハレルヤ！ 鎌倉市 篠崎八重子

訃報

吉岡芳一さん(十一月二十四日召天) 大阪水上隣保館乳児院院長・元大阪府吹田子ども家庭センター所長 当館のために多大なるご尽力を頂きました。

前島正一さん(一月七日召天) 日本キリスト教団大阪教区委員 当館の創立者夫妻とご親交を頂き法人の賛助者として長年に亘りご支援を頂きました。

心よりの感謝し、御霊の上に神様の祝福が豊かにありますようにお祈り致します。

育てあい、育ちあい

遙学園・「ひびき」のクラブ活動 (Part ②)

〔遙学園〕ブラスバンド部

(小17名・中8名)

音楽クラブは、二〇一〇年にブラスバンド部を加えました。

部員もどんどん増え、にぎやかに活動しています。リコーダーやベルリラ、トランペット、サクソフ、トロンボーンなど学校とはちよつと違つ音楽の楽しさを感じ、子どもたちは「あんな楽器を演奏したい！」と目標をもって頑張っています。

園の行事だけでなく地域のコンサートにも呼んで頂いていますが、皆様が聞いて楽しくなる音をお届けできたらと願っています。



〔遙学園・ひびき〕将棋部

(小6名・中6名・高2名)

週一回一時間の枠の中で初心者の子どもから上手な子どもまで楽しく将棋を指していますが、勝ち負けにこだわらず人として成長していくために大事にしていることがあります。

それは、「礼に始まり礼に終わる」をモットーに挨拶すること。礼儀の勉

強です。また、

将棋は相手がいって初めて勝負が成り立つので、「相手に失礼な言動はしない・相手を思いやる気持ち」を勉強しています。

施設間交流試合、町内将棋大会などに参加しながら、細く長く続けていけるように楽しく活動しています。



〔遙学園〕自転車部

(小13名)

「自転車で出かけた」と子どもたちからの強い希望がきっかけとなり、昨年の秋頃から月に一回のペースで淀川の河川敷や枚方方面などへサイクリングに出かけています。普段は園の近くの散歩や、車での外出が多いので四季折々の自然と触れ合う機会は子どもたちにとって新鮮なものです。



途中には坂道やデコボコ道などしんどいこともあります。諦めずに頑張つて挑戦していく、困難なことも乗り越えていく力になつたらと願っています。まだまだ乗り慣れない子どもも熱心に練習しながら、サイクリングに出かけることを目標に取り組んでいます。

〔遙学園・ひびき〕野球部

(小13名・中9名)

野球部は昨年度も大阪大会で優勝しました。

入部前に「キャッチボール部」があり、キャッチボールで相手への思いやりを身につけてもらうことを目標にしています。そして努力が認められると野球部に昇格することができます。

時には野球部がキャッチボールの精神が学べていないと判断されれば、全員がキャッチボール部に降格することがあります。このように部員たちは、野球を通して

「心の勉強」をしています。

「キ」な「ス」な「泣」かない「合」言葉に、

二十一名の部員は日々練習に取り組んでいます。



〔遙学園〕女子バレーボール部

(小18名・中9名)

バレー部は、子どもたちが通っている中学校の体育館を借りて、週一回程度賑やかに練習しています。最近ではバレー部以外の職員や中学校の先生も練習に駆けつけて下さいます。

毎回、MVPを決めていて、特に練習を頑張つた子どもを表彰します。子どもたちは、MVPを目指し、大きな声で頑張っています。



私はバレー部の中二。小三から今までずっと続けています。

私にとってバレー部は、とっても楽しくて今までの嫌なことを忘れられ、一番頑張れる瞬間です。

バレー部の活動で気にしていることは、小学生たちのことです。以前は私も早くコートに入りたいと思っていたので、今の小学生たちも同じ気持ちだと思えます。いつかその願いが叶うといいなと思います。

(バレー部キャプテンN)

乳 児 院

院長に就任して

♥あつでね！
二才になったR君、担当職員と離れる時は、いつも大泣きでしたが、最近「あつでねー」がわかるようになりました。同じ担当のK君が離れる時に大泣きをしているとそつと近付き、「あつでねー」と教えてあげていました。
(保育士 杉本安有美)



ほくも一緒にだっこして

♥コイさん美味しいよ！
お散歩でお池のコイに餌をあげに行きました。僕も私もとエサの取りあいです。大きな口をパクリと開けているコイに釘付けで見えています。
(栄養士 大和久美)

♥優しいね！
ポポちゃん遊びが大好きなYちゃんを布団をかけてトントンして寝かせていると、添い寝をしている私に自分のお布団をかけてくれました。優しい気持ちを持って大きくなれたことがとても嬉しいです。
(保育士 北條敦子)

二歳になるK君は、もう歩くことができるのですが、外に出ると途端に座り込んで「だつこだつこ」と泣いてしまいます。その日も、病院の外で順番待ちをしていたのですが、ご多分にもれず、ずつと抱っこされたままでした。病院は二階にあり、K君と私は一階で列の最後で病院が開くのを待っていたのです。

K君はある瞬間、すつと降りたと思うと、階段を一段一段上り始めました。まだ小さいので四つん這いになりながら、よしよ、よしよ、と上っていきます。階段の途中で列をつくっている人も「がんばってるね」とよけてくれます。左右交互にはいきませんが、右手右足を上の段にかけてちよつと斜めの姿勢で上ります。そして、十数段もある二階までの階段を上りきり、「がんばったねー」と言われて、ちよつと誇らしげな顔で二本の足ですつと立っていました。

私は、四月に院長として乳児院に来ました。戸惑いながらも色々考えさせられる毎日です。K君は大人になつたら、二歳の時の乳児院のことを覚えてないかもしれない。でもこのK君のひたむきに上っていく意志―生きようとする力を生涯持てるように力強く太くすること、これこそが私たちの仕事だとの時思いました。

(院長 高山嘉史)

特別養護老人ホーム

弥 栄 の 郷

家内は今日も元気ですか？

四月三十日は君枝さんの七十七歳の誕生日でした。入所以来皆勤で面会に来られている夫、輝彦さん。いつもは夕方、椎尾神社から自転車を降りて一歩一歩踏みしめて登って来られます。この日は輝彦さんと二人一緒に祝いします。同級生であったお二人は信頼、尊敬、人間愛が一つになり大きな絆で結ばれているご夫婦。「生きています。存在している。そこにいる」ことで君枝さんは夫を支えています。

弥栄の郷ではお誕生会を誕生日ごとに行っています。係の職員は趣向を凝らしプレゼントを準備します。君枝さんへのプレゼントは低反発の枕でした。
(医務室 上門せつ子)



「弥栄の郷ファミリークラブ」



「弥栄の郷家族の会」から「弥栄の郷ファミリークラブ（弥栄の郷を愛する心で応援する）」と改称し、九月で二年を迎えます。

大阪水上隣保館の桜バザーと山崎幼稚園もみじまつりでは子どもたちからの絶大な期待に応え、一同、ボランティアさんの応援も得て一生懸命綿菓子を作っています。

また春は写真を主に、秋はそれぞれ個性豊かな文章を中心に会報を年二回発行しています。今年は五月に弥栄の郷の玄関先の召天者祈念メモリアルモニュメントの周りに待望の「ほうき草」の苗をメンバーで植えました。鮮やかなグリーン、モコモコの質感の成長がこれからです。楽しみます。

(ファミリークラブ代表 浅谷秀彦)

山崎保育園



親子交流会

同じクラスでも、会うことが少ない保護者同士が交流しようと、五月の毎土曜日にクラス毎の親子交流会を保育園や緑地公園で実施しました。

幼児組では子どもが保護者の手を引き、友だちのところへ連れて行き、保護者同士が自己紹介をしたり、空いている穴から子どもが手を出して保護者が自分の子どもの手を探すぐらゝい等を行いました。また、乳児組では親子で一緒にわらべうたを歌ったり、赤ちゃん体操をしたりしました。最後はフリートーキングで保護者同士「誰だれのお母さんはこんな人だったんだ」とか「また家に遊びに来てね」という話も聞かれました。あっとい間の一時間で終了。
(保育士 栗田梨保)

藤の里保育園



ドン！ ヤア！ 気合十分！

六月八日に地域交流の一環として、高槻現代劇場で、ソーラン節と今回のためにお稽古した花笠音頭を年長組が踊りました。舞台上では、芥川高校和太鼓部とのコラボもあり、子どもたちは「ドキドキする」と手の平に人の文字を書いてみたり、中には「サイン下さいって言われたらどうしよう」と悩んだり、本番まで緊張していました。「ドン」と太鼓の音が鳴ると「ヤア！」の掛け声、かっこいい決めのポーズでソーランの踊りが始まりました。

花笠音頭では、和太鼓部の迫力のある生演奏と歌に子どもたちもノリノリでとって可愛らしい踊りを披露できました。その姿を見た会場の方々は涙で泣きました。
(主任 星野智子)

山崎幼稚園



針で縫い物、上手に出来たよ

五月には、各学年が趣向を凝らし、日ごろの感謝を込めて、楽しい母の日参加日を持つことができました。年長児は、毎年恒例の「針製作」にチャレンジしました。今年のプレゼントは、子どもたちが選んでおいた葉っぱの形のフェルトにリボンを縫いつけて作る植木鉢カバーです。

糸の色を相談して一針一針丁寧に縫っていくのですが、時には「痛っ」と叫び声が上がります。でも、これも良い経験。一緒に作ることで縫い物の楽しさや難しさを知り、お母さんの偉大さ？を改めて感じる子どもたちでした。保護者からも「真剣に取り組む姿にとても成長を感じました」と大好評でした。
(主事 佐古博子)

大阪保育福祉専門学校



被災した大槌保育園を忘れない

出会いから二年。学生は壁面装飾を毎月送ったり(写真は大槌保育園が今春本園での保育再開時に送付のもの)、子育てスクールではフリマを開催し、寄付するなどの活動が続けています。

第一声を上げた学生は全員今春で卒業しましたが、残りのメンバーが「自分たちの代で活動を終わらせない。忘れない」と伝え続けなければ」と礼拝で呼びかけてくれた結果、二十五人の新入生が集まりました。その他、教職員による手作りのクリスマスプレゼントに加えて、五月からは本校の口角入りグッズを販売し、純益の全額を寄付することにしました。ささやかですが、エールを送り続けたいと思います。
(副校長 植田彌生)

在宅養育支援センター
みゆき園



愛称は「ごすいご助」

新メンバー登場！色白で大きく、優しく力持ち、名前は「福祉相撲号」です。子どもたちの間では「ごすいご助」と慕われています。園では車椅子から送迎車への移乗介助が大きな課題でした。そこで、NHK厚生文化事業団と日本相撲協会のご協力により、リフト車を寄贈して頂きました。

これからは職員や利用者にとって無理のない移乗ができます。リフトで車椅子がウインと上がり、走行も加減速制御で滑らかです。「ごすいご助」の心地は「少し高めの位置からAちゃん」は窓を覗き込み「グッド・グッド」上機嫌です。皆様のご支援でまた一つ笑顔を見ることができました。心から感謝です。(センター長 中川修二)

ファミリーポートサブリ村野



はじめまして！

この四月一日から、枚方市直営だった子育て広場「さびり」と「ファミリーサポートセンター事業」を当法人が受託して運営をスタートしました。

旧村野小学校の職員室を改装したワンフロアのプレイルームに、木製のおもちゃや絵本を配置してゆっくと遊んでもらえるようにしています。広く明るい広場には、毎日三十組前後の親子さんが訪れます。また、事務スペースの一部には「ファミリーサポートセンター」があり、子どもを預かる市民の相互援助を支援しています。

スタッフは十一名。ファミリーポートひらかたとも交流しながら、新しい地域で子育て家庭の支援の輪を広げています。(センター長 山下裕美)

ファミリーポートはるか



梅雨の楽しみ

ファミリーポートはるかでは、毎月一回、地域の親子連れに来て頂き、保育士が様々な催しを考えて一緒に遊ぶ「親子であそぼう」という日を設けています。

先日、六月には梅雨にちなんで、ピニール傘シアターを行いました。自分の知っている動物や身近な生き物が登場すると、ちびっこたちは手をたたき立ち上がって喜び、心ワクワク。

その後は、親子で一緒に製作をし、カラフルな傘とユニークな力タツムリができました。この作品を見て子どもたちは大喜び！手にとってお部屋中を歩き回っていました。そんな子どもたちも可愛くって、写真撮影会が始まりました。(保育士 上村望美)

山崎保育園
地域子育て支援センター



離乳食試食会

子育て支援センターでは、三ヶ月から十二ヶ月のお子さんを持つ親子対象の『なかよしランド』(毎週木曜日開催、年齢別の親子遊びの広場)の中で、離乳食試食会を開催しています。

保育園の給食の離乳食を実際に食べてみて、味や食感、のど越し、具材の大きさなどを確認してもらっています。アレルギーのあるお子さんもおられますので、子どもには食べさせず、大人に体感してもらいます。大半のお母さんたちは薄味で素材の味を生かしたメニューに感心されています。日頃の食事に関する悩みなども栄養士と調理師に聞くことができ、年に二回ですが、毎回とても好評なイベントになっています。(保育士 石川美紀)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 83年]

大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001

お問い合わせ・
お申し込みは



▶お電話で
0120-919-294

クイック フクシ

▶メールで
pub@o-hosen.ac.jp

ケータイからもOK!

▶QRコードで
ケータイサイトから



1 専門学校・本館



2 専門学校・オリーブ館



3 専門学校・中村記念館



4 児童養護施設 遙学園



5 児童心理治療施設 ひびき



6 大阪水上隣保館乳児院



7 大阪水上隣保館附属診療所



8 地域交流センター・ゆりの礼拝堂



9 特別養護老人ホーム 弥栄の郷



10 山崎幼稚園



11 山崎保育園



12 みゆき園



13 さくら館



子ども家庭支援センター・ファミリーポートひらかた (枚方市)

豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

山 崎 幼 稚 園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296